



広めよう！ 生み出そう！ 「奈良のうまいもの」

新規会員募集中

「奈良のうまいもの会」は、奈良県農林部が 10 年間取り組んできた「奈良のうまいもの」づくりを「平城遷都 1300 年祭」終了後に引き継ぎ、平成 23 年に「奈良の食」をアピールし、ブランド力向上を目指して 45 の民間企業（店舗）で発足、翌年には「一般社団法人奈良のうまいもの会」として法人となりました。

現在、設立 5 年目を迎え会員も増加、加盟約 76 社の組織へと成長しました。奈良市内を中心に南部は吉野郡川上村まで県内を網羅するネットワークを持ち、奈良を代表する特産品の製造販売会社、ホテルやレストランのほかに、農業・畜産生産者も加入して、文字通り「奈良の食」を代表するメンバーが名前を連ねております。

活動内容は、会員各社の交流推進、各種イベントへの参加・企画、広報出版物の発行はもとより、加盟会員による「奈良のうまいもの」の商品登録を基礎に、調理師会や料理師学校、報道・メディア、奈良県農林部、消費者の各代表など食の専門家や有識者による審査委員会を開催し「認定プレミアム商品」を選定しています。

こうして平成 26 年 4 月からは、奈良県農林部との協働事業として JR 奈良駅構内 1 階に奈良県アンテナショップ「奈良のうまいものプラザ」を開業。「奈良の食の情報発信拠点」として各種特産品、お土産、農産物の販売および農園直送レストラン「古都華」を運営しております。また、奈良県に所縁の深い「大和当帰」活用を始め県の漢方のメッカ推進プロジェクトにも参画しています。さらに平成 27 年には、東京ビッグサイトで開催された世界最大級の旅の祭典「ツーリズム EXPO ジャパン」奈良県ブースの出展を担うなど、食・農・観の連携によるフードツーリズムを推進し、全国・世界へ向けて奈良の食文化をアピールしています。

「奈良のうまいもの」の輪を広げるために、「奈良の食」に携わっておられる皆様の御参集を心からお待ちしております。

★会員になるためには

- ・入会金 9,000 円
- ・月額 3,000 円の会費が必要です（年額一括払い）。

★会員としての活動

- ・会議・・・定例会（月 1 回）、総会（年 1 回）、各委員会（適宜）
- ・「奈良のうまいもの」商品登録等

★その他の事業例

- ・「奈良のうまいもの」ロゴマークの『商標登録』を取得（平成 25 年 4 月 26 日）。
- ・会員社の活躍・・・全国コンクールで受賞（一例）・・・共通商品「鹿サイダー」が、平成 24 年ふるさと食品コンクールで会長賞受賞。平成 25 年 11 月、観光庁の「究極のお土産」に石井物産（株）の「郷愁の柿」が全国 747 品の中からベスト 9 に選ばれました。

「奈良のうまいもの会」に入ると・・・こんなメリットが

3大メリット

①広める＝広告宣伝効果・・・「奈良のうまいもの」を広めます

・各店・各社の商品（主に登録商品）の広報促進と奈良県産農産物や特選品、食材の広報を同時に行います。

・「奈良のうまいものガイドブック 2014」（A5 版 32 ページ、4 万部）発行、同時に「スタンプラリー味巡るん奈良」（奈良県後援、奈良県ビジターズビューロー協力）。全社・店が掲載されたリーフレット「奈良のうまいもの散歩 2015」（タブロイド版、8 ページ、5 万部）発行。（奈良県ビジターズビューロー、奈良マーシカ協力）。

会オリジナル HP での広報。奈良のうまいものプラザ HP、フェイスブック（うまいもの会 Facebook の「いいね!フォロワー」登録 6,100 名超）等で各会員の登録商品（現在 150 品）や当会活動をホームページや情報発信を行っています。

・「奈良のうまいものプラザ」による広報と販売促進。

・奈良県広報や地元メディアによる紹介も多数。

・各種イベントへの参加・・・奈良食祭、食博覧会・大阪、奈良フードフェスティバル、はなやか関西～文化首都年～2013「関西の食文化」、若草山ミュージックフェスティバル、奈良マラソン、ツーリズム EXPO ジャパン 2015(東京ビッグサイト)、イオン各店で「奈良のうまいもの」ブースなど出展・参加イベント多数。

②つながる＝食農連携・農商工観連携・・・「交流から連携へ」

・当会の強みは、ホテル・旅館、飲食・スイーツ店、お土産物販店、奈良の特産や食材に係る製造者、農業・畜産生産者を始め各種事業者が「奈良の食」を結集軸に参加していることです。まさに業種業態の垣根を越えて会員相互の連携や協力が可能です。

・奈良県を始め県内のビジターズビューローなど各種団体との連携・コラボを推進しています。

・食農連携は当会活動の中心軸です。調達困難な地元食材や特産品も「うまいもの会」のネットワークを活かして、野菜・畜産等、顔の見える心の通じた食材流通が始まっています。

③生み出す＝新事業・新商品・新ブランドの開発へ・・・「連携から創造へ」

・歴史と伝統に育まれた食文化の上に、新しい奈良のうまいものを創造！それが私たちの合い言葉です。

・「奈良のうまいもの」の発信拠点として「奈良のうまいものプラザ」は、当会と奈良県農林部との協働運営ショップであり、官民協働や県産品アンテナショップの新たな可能性を追求した新事業です。すでに農園直送レストラン事業やデリバリー事業、イベント事業などを開始し、新たな企画にも次々と取り組んでいます。会員皆様のアイデアや提案による新規商品や事業も可能です。

・「奈良のうまいもの」ブランドの向上の一環として、農産物のブランド化に取り組んでいます。「大和情熱野菜」ブランドを立ち上げ、生産者土壌診断と県内食のスペシャリストによる推薦委員会の 2 本立てにより県産優良農産物の認定と販促・広報に取り組んでいます。

・さらに畜産 PB ブランドなど新たな共通商品、PB 商品、新規事業の開発を図り、新たな可能性を目指して活動しています。